

～ **日本海 資源量評価** ～

水産研究・教育機構が主催する日本海資源評価会議が9月初めに開催され其々の海域、魚種について資源量の評価を承認しました。ハタハタ、アカガレイ、マガレイ、メギス、ヤリイカ、ヒラメは中位または低位の漁獲量であり抑制が求められます。中でも底引き網漁で小型魚が混獲されて減少傾向が強いマガレイは保護策が必要。ハタハタ（石川—島根海域）は漁獲制限や漁網の改良などで資源回復が見られます。一方、アマエビは高位増加傾向にあり、向こう数年の好漁が見込まれます。同じくマダラも高い水準。



～ **マイワシ 豊漁時代** ～

マイワシは50年程度の周期でゆっくり増え続け、上り詰めた後はほぼ同じ足取りで減っていくそうです。そのマイワシ資源が再び復活の兆候を見せています。地球温暖化が問題になっている中、海はマイワシの好む寒冷化に向かっているとのこと。数十年周期で海水温が動くことを「レジームシフト」と呼ぶそうです。その影響でサバも増えてくる一方でカタクチイワシ、アジは減少、サンマ、スルメイカは沖に向かって北上し、漁場の遠隔化で漁獲量が減る予想もされています。



～ **スマ 養殖へ前進** ～

マグロの資源減少から国際的な漁獲規制が敷かれる中、代替の新種の養殖魚として「**スマ**」が期待されています。ブリ養殖並みのコストでマグロに近い味の魚が養殖できるとのこと。**スマ**は魚体が小型なためブリやタイなどの既存イケスが活用できことも大きい。3～4kgが出荷ベース。量産化は来年以降に軌道にのる可能性があると考え、お目に掛かれる日もそう遠くないのでは。。



10月

- 甘エビ
- ブリ
- ガスエビ
- ササカレイ
- メギス
- ミズウオ
- アマダイ
- ノドグロ
- ベニズワイガニ



入荷状況&商品情報 

底引き網漁解禁後は若干少なめの入荷です。ハタハタの入荷は特に少ないです。秋に入り**ガンド**も魚体が大きくなってきました。身質も良くなってきます。**カマス**、**アオリイカ**も入荷し始めました。今後期待です。**タラ**は価格も安いので早くも鍋用にとお求めなる方も。白子は未だ未熟なので天ぷら用に。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。